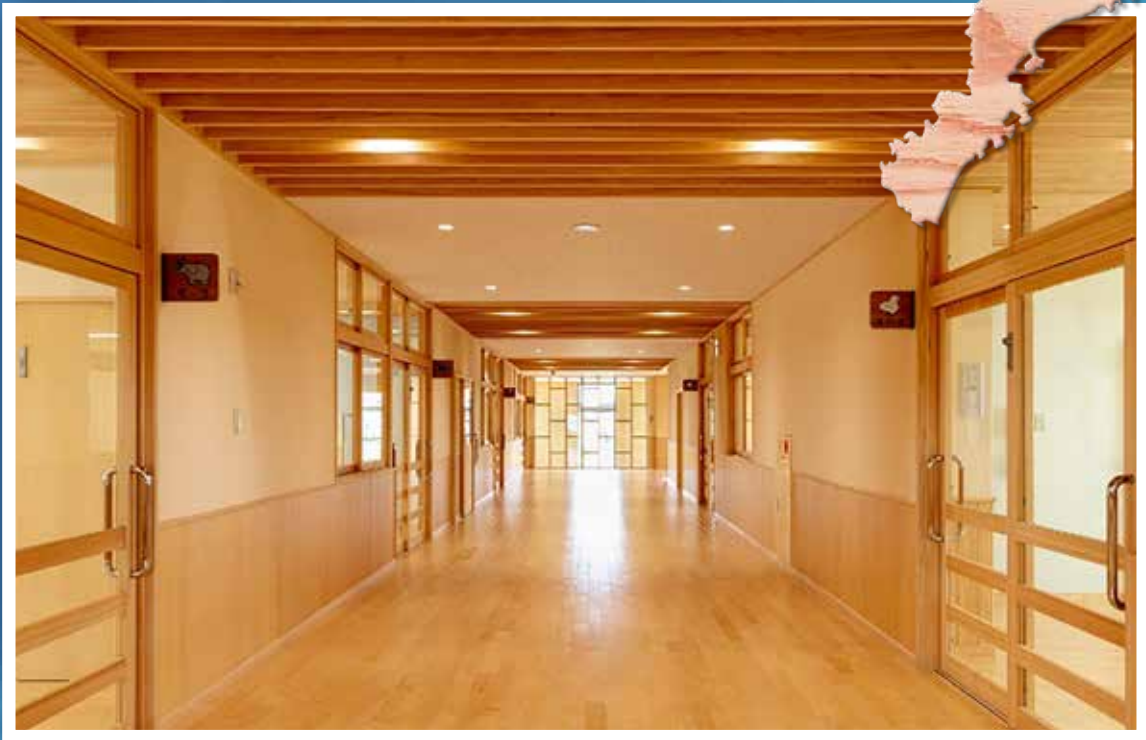


令和3年度 公共建築物等への

県産材

利用事例集



三重県



「木づかい」で三重の森林を元気に

森林は私たちの暮らしをさまざまな面から支えています。

生物多様性の保全

森林はさまざまな生物の生息する場となります。また、森林の豊富な養分を含んだ水は、川や海に流れ込み、そこに生息する生物の暮らしも守ります。

災害の防止

森林には土を支えたり水を貯えたりするはたらきがあり、土砂崩れや洪水を防いでいます。

自然の恵み

森林は二酸化炭素を吸収して酸素を作ります。また、森林は雨を貯えて水不足を防いだり、雨をろ過してきれいな水を供給します。

三重県の森林は約6割が人工林であり、収穫するために人が木を植えて育てられています。そのため、人が手を加え続けなければ、森林は荒れてしまいます。

三重県の森林を守るためには、三重県の森林から生産された木材を積極的に使い、木を「植える→育てる→収穫する→また植える」という「**緑の循環**」を維持していく必要があります。



木造の安全性と人に与える効果

木の家でも火災に強い建築物が建てられます

木造の耐火構造技術の進展により、鉄骨造や鉄筋コンクリート造と同等の火災安全性が確保できるようになっています。

また、厚みのある木材は芯まで燃え尽きるのに時間がかかるため、建築物がすぐには倒壊せず、避難する時間をかせぐことができます。



木材の香りには、心や体をリラックスさせる効果があります

樹木はそれぞれ固有の香りを持っており、木の中に入ると気持ちが落ち着きます。

また、最近の研究によると、スギの香りの作用によって血圧が低下したり、ヒノキの香りの作用によって人の免疫力が向上するといったことも分かっています。



木造なら転倒時等の衝撃を緩和できます

木材は衝撃緩和効果があります。特別養護老人ホームを対象としたアンケート調査では、構法の工夫によって、転倒や転落による骨折事故が約2/3に減っているとの報告がありました。小さな子どもにも安心して使用できます。



木造のメリット

木造の方が安価になる場合があります

保育園について、鉄骨造(内装木質化)とした場合と、木造とした場合とで建設コストを比較したところ、木造の方が安価となった事例があります。

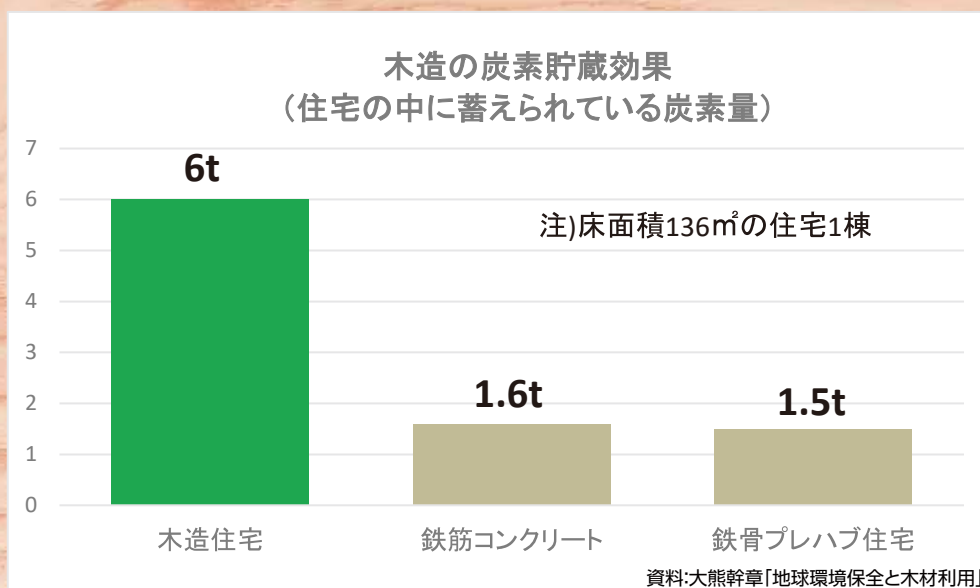
ここでは、木造の方が建物の重量が軽く、基礎工事の費用が圧縮されたこと、構造物等を現しで用いることで内装の木質化を省略できたことが木造建築のコスト優位性に繋がりました。



地球温暖化への貢献

樹木は、空気中の炭素を吸収して成長します。空気中の炭素を固定した木材を使っている木造建築物は、第2の森林とも言われています。

また、木材はほかの資材と比べて製造時のエネルギー消費が少ない省エネ材料であり、地球温暖化防止に大きく貢献しています。



「ウッド・チェンジ・ネットワーク 第1回会合 説明資料」(林野庁)をもとに作成

1. 学校関連施設等

■社会福祉法人蓮華会養泉寺保育園（新築）	6
■放課後児童クラブ Smile（新築）	8
■鈴鹿市立石薬師小学校屋内運動場（新築）	10
■明和町立明和中学校（新築）	12
■多気町松阪市学校組合立多気中学校（新築）	14
■社会福祉法人神戸福祉会神戸保育園（新築）	16
■玉城町立田丸小学校（改修）	17

2. 交流施設等

■松阪市小野江公民館（新築）	18
■創造の森横山作業所（改修）	20
■阿曽集会所（新築）	22
■宮リバー度会パーク上屋（新築）	23

3. 社会福祉施設

■住宅型有料老人ホーム木家（新築）	24
-------------------	----

4. 庁舎等

■山除川排水機場操作員休憩室（新築）	25
■尾鷲市役所本庁舎（改修）	26
■警察官駐在所木造建築事例（新築）	28
・いなべ警察署治田警察官駐在所	
・いなべ警察署梅戸井警察官駐在所	
・四日市南警察署川島警察官駐在所	
・鈴鹿警察署加佐登警察官駐在所	
・松阪警察署東黒部警察官駐在所	
・松阪警察署大石警察官駐在所	
・鳥羽警察署安乗警察官駐在所	
・名張警察署赤目警察官駐在所	
・熊野警察署金山警察官駐在所	



社会福祉法人蓮華会 養泉寺保育園

所在地 桑名市大字本願寺 196-2
 発注者 社会福祉法人 蓮華会
 区分 新築
 工期 着手 令和2年1月27日
 完成 令和3年3月17日
 階数 地上2階
 構造 木造

延床面積 682.8 ㎡
 工事費 257,300 千円
 木材利用量 172.2 ㎡
 うち県産材利用量 15.0 ㎡
 設計 株式会社アーキボット
 施工 亀山建設株式会社

1 木造・木質化を選択した背景

子どもにとって安全でぬくもりある園舎で、体感する木の手触りや香り、柔らかな光や風の中に自然の息遣いを感じてほしいという思いから木造・木質化を選択しました。



2 木材の使用箇所や工夫点

三重県産のヒノキ材を、柱・差し鴨居・桁・力垂木・垂木に使用しています。深い軒を支える力垂木と軒裏全面のスギ板（厚 30 mm）により屋根架構の美しさを外観に表しています。二階の遊戯室では柱間を大きくとるためのトラス梁を意匠的な特徴としています。このように主要構造部に現しで使用した無垢の木材は「燃え代」を除いた残りの断面にて構造計算を行っており、園舎を「燃え代設計による準耐火構造」としています。



3 木造化におけるコスト削減の取組

地盤調査結果から基礎杭が必要であったため、建物を木造として軽量化し杭工事、基礎工事のコスト削減を図りました。

4 木造・木質化した感想

木造・木質化した園舎で子どもは気持ちよさそうに床に寝転んだり柱に抱き着いたり、安心して自分なりの楽しさを見つけています。保育の質の向上にも繋がっていると感じます。



放課後児童クラブ Smile

所在地 いなべ市大安町門前 518-10
 発注者 いなべ市
 区分 新築
 工期 着手 令和元年 10 月 3 日
 完成 令和 2 年 6 月 30 日
 階数 地上 1 階
 構造 木造

延床面積 136.6 ㎡
 工事費 49,005 千円
 木材利用量 25.7 ㎡
 うち県産材利用量 25.7 ㎡
 設計 大建設計株式会社
 施工 若松ウッドホーム有限公司

1 木造・木質化を選択した背景

児童が放課後を過ごす施設のため、家庭と同様に温かみを感じられ、過ごしやすい空間となるよう、木造にしました。

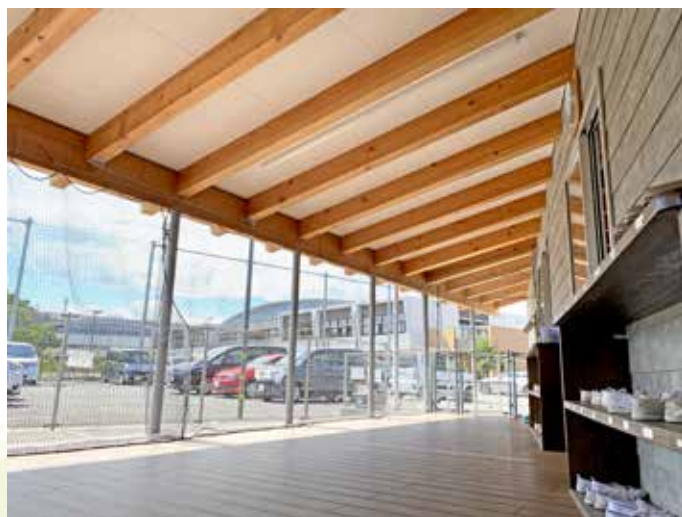




2

木材の使用箇所や工夫点

構造部材及び床に木材を使用しました。室内から見て梁に木材を使用していることが分かるように、現しとなっています。



3

木造・木質化した感想

木をふんだんに使用した本施設に、子どもたちは毎日元気に登所しています。

地元三重県の木なので、私たち指導員も安心です。斜めの天井で、子どもたちは「まるで、天井から木が迫ってくる感じがする！」と言って喜んでいます。



鈴鹿市立石薬師小学校 屋内運動場

所在地 鈴鹿市石薬師町 1713
 発注者 鈴鹿市
 区分 新築
 工期 着手 令和 2 年 6 月 23 日
 完成 令和 3 年 3 月 20 日
 階数 地上 1 階
 構造 鉄筋コンクリート造 一部木造

延床面積 961.0 m²
 工事費 450,000 千円
 木材利用量 51.3 m³
 うち県産材利用量 38.7 m³
 設計 興和建築設計
 施工 鈴南建設株式会社

1 木造・木質化を選択した背景

石薬師小学校は、東海道五十三次の石薬師宿に位置していることから、宿場町の景観に調和する建物をコンセプトに設計しました。外観は白と黒を基調とした「蔵」をイメージしており、内装についても、温かみのある建物を目指しました。





2 木材の使用箇所や工夫点

屋根の小屋組みに木材を使用し、トラス構造としています。また、内装についても木質化を行い、温かみ・親しみのある空間となるように工夫しました。



3 木造・木質化した感想

児童、教職員、地域住民からは、「屋内運動場に入った時に、鉄骨現し屋根と違い温かみを感じる」「明るくて開放感がある」といった声が寄せられており、木造化・木質化を喜ばれているようです。



明和町立 明和中学校

所在地 多気郡明和町大字坂本 1237-1
 発注者 明和町
 区分 新築
 工期 着手 平成 30 年 7 月 30 日
 完成 令和元年 12 月 27 日
 階数 地上 2 階
 構造 鉄筋コンクリート造 一部木造

延床面積 8883.0 m²
 工事費 2,517,202 千円
 木材利用量 199.0 m³
 うち県産材利用量 168.0 m³
 設計 株式会社青島設計
 施工 株式会社浅沼組

1 木造・木質化を選択した背景

「明和町の歴史的まちなみや文化を継承し活発な交流と町への愛着を育む学校」をコンセプトに、三重県産材の杉を普通教室の屋根小屋組みや、木製ルーバー天井に使用し、木の温もりを感じられる校舎を目指しました。





2 木材の使用箇所や工夫点

校舎の主構造は耐震性・耐火性・耐久性に配慮し鉄筋コンクリート造としましたが、2階に配置した普通教室の屋根小屋組みに県産材の集成材を採用し、木架構を現しとすることで開放的で温もりのある空間となるよう工夫しました。



3 木造・木質化した感想

スギを用いた普通教室の屋根小屋組みは、生徒や教員から開放的で、明るい教室に木の質感が映え、広がりのある空間と木の温もりを感じることができると大変好評です。木製ルーバー天井をはじめ、随所に使用された木材は生徒に木の良さを伝えています。



多気町松阪市学校組合立 多気中学校

所在地 多気郡多気町相可 1540
 発注者 多気町松阪市学校組合
 区分 新築
 工期 着手 平成 31 年 2 月 13 日
 完成 令和 2 年 7 月 15 日
 階数 地上 2 階
 構造 鉄筋コンクリート造

延床面積 5291.8 m²
 工事費 1,986,938 千円
 木材利用量 166.6 m³
 うち県産材利用量 33.0 m³
 設計 石本・アスカ・村林特定建築設計
 共同企業体
 施工 北村・吉川特定建設工事
 共同企業体

1 木造・木質化を選択した背景

豊かな教育環境づくりを進める上で大きな効果が期待できることから、基本設計の段階から内装材には地域の木材をより多く取り入れることができるよう進めてきました。また、断熱性の高い木の特性を活かし、床の底冷え防止など、室内環境の向上と熱負荷低減につなげています。





2

木材の使用箇所や工夫点

生徒たちの活動の場となる教室や廊下等の床、壁に積極的に木材を活用し、特に壁は県産材のヒノキを活用しています。生徒たちが「目で見、手で触り、木の香りを感じる」そんな木のぬくもりを体いっぱいを感じられる空間としました。

3

木造・木質化した感想

内装や床等、ふんだんに木を使用した校舎はぬくもりのある落ち着いた雰囲気になっています。また、木質化の効果によって屋内の湿度が低いため梅雨時や夏場の暑い時期も生徒たちからは「過ごしやすい」という声が聞かれます。また、保護者や来校者からも「落ち着いた空間で学習しやすい環境である」と好評を得ています。





社会福祉法人神戸福祉会 神戸保育園

所在地 松阪市下村町 2475
 発注者 社会福祉法人神戸福祉会
 区分 新築
 工期 着手 令和 元年 11 月 16 日
 完成 令和 2 年 7 月 15 日
 階数 地上 2 階
 構造 鉄骨造

延床面積 1488.2 m²
 工事費 422,400 千円
 木材利用量 11.0 m³
 うち県産材利用量 11.0 m³
 設計 株式会社アス力総合設計
 施工 株式会社北村組

1 木造・木質化を選択した背景

木の持つ質感や香りは安らぎや精神の安定、リラクゼーション効果等があるといわれていますが、こどもの生活の中でできるだけ身近に木を感じられる空間づくりを心掛けました。これは自然があふれる環境の中でこどもの情緒や体力を育てるといふ、園の方針にも合致しています。

2 木材の使用箇所や工夫点

保育園の構造は鉄骨造 2 階建で、その規模から用途上内装制限があるので、保育室の腰壁や、木製ドア、天井ルーバー等法的にクリアーできる部位に木材を積極的に使用しました。

3 木造・木質化した感想

鉄骨造りでありながら、見た目は木造造りのように木材を使用しており、木の持つ温かさを感じることができて、保護者からも大変評価を得ています。





玉城町立 田丸小学校

所在地 度会郡玉城町佐田 1247
 発注者 玉城町
 区分 改修
 工期 着手 令和2年7月3日
 完成 令和3年1月29日
 階数 地上3階
 構造 鉄筋コンクリート造

延床面積 93.1 m²
 工事費 3,267 千円
 木材利用量 1.2 m³
 うち県産材利用量 1.2 m³
 設計 株式会社山本設計
 施工 吉田産業株式会社

1 木造・木質化を選択した背景

コンピュータ教室の床を木質化することで、ゆとりと潤いのある学習環境を整備するとともに、県産材を使用することで、児童が地球環境負荷の軽減や森林の保全につながることを学ぶきっかけとなることを目指しました。

3 木造・木質化した感想

木の香りが感じられ、教室全体が明るくなり、快適な学習空間となりました。

2 木材の使用箇所や工夫点

教室の床をカーペット張りから県産材の板張りに変更することで、清潔で温かみのある学習空間となり、既設の配線を撤去することなく、床ピットのフタも県産材を使用して、調和のとれた仕上がりとなりました。



松阪市小野江公民館

所在地 松阪市小野江町大垣内 380-1
 発注者 松阪市
 区分 新築
 工期 着手 令和 2 年 6 月 18 日
 完成 令和 3 年 3 月 1 日
 階数 地上 1 階
 構造 木造

延床面積 401.7 ㎡
 工事費 201,790 千円
 木材利用量 82.8 ㎡
 うち県産材利用量 67.5 ㎡
 設計 有限会社ピース設計
 施工 株式会社中谷建設

1 木造・木質化を選択した背景

松阪市内の観光スポットである日本瓦屋根の「松浦武四郎記念館」に隣接する立地条件から、その景観に調和した切妻瓦屋根の木造建築を選択しました。本建物は地域に暮らす人たちの生涯学習活動の拠点となることを目的としています。そのため公民館活動の機能充実を図りながら、利用者に木造建築物の親しみ深さや、「見る」、「触る」、「香る」ことによる木材の温かさを体感する施設づくりを心掛けました。





2 木材の使用箇所や工夫点

建物は在来軸組工法であり、さらに外部に木造の下屋を廻らせるなど「木造らしさ」を表現しています。内部では大空間の高層棟において梁に大断面集成材を使用し、大研修室の天井に露出して見られます。また、ロビーの天井には木造小屋組みが見られることで、木造の趣を感じられます。利用者エリアの内装材には、床にヒノキ無垢材のフローリング、壁及び一部天井にスギ上小節無垢材の小巾板を使用しました。

3 木造化におけるコスト削減の取組

建設地は埋蔵文化財包蔵地にかかっており、また事前の地質調査において地盤の液状化の危険性は低いと判断されました。それらから総合的に判断して建物を直接基礎・地中梁工法で計画するより、べた基礎工法の方が地盤改良してもより地層を保護すると判断しました。また、建物コンセプトからも純木造建築物がその方向性に則していることから木造を選択しました。

4 木造・木質化した感想

利用者からは木の香りが良いという声が多いです。また公民館の活動内容によっては、木の床のあたたかさ、やわらかさが実感できるとのお声をいただいています。子ども参加の講座やサークルでは、活動の前後にスリッパを脱いで遊んだり、靴下で滑ったりと存分に木の感触を楽しんでいます。難点といえば、床が柔らかく傷つきやすことで、その他は好評いただいています。





創造の森横山作業所

所在地 志摩市阿児町鵜方 628-88
 発注者 志摩市
 区分 改修
 工期 着手 令和2年5月14日
 完成 令和3年2月18日
 階数 地上1階
 構造 木造

延床面積 132.3 ㎡
 工事費 38,793 千円
 木材利用量 6.8 ㎡
 うち県産材利用量 6.8 ㎡
 設計 一級建築士事務所箕浦設計
 施工 株式会社山下組

1 木造・木質化を選択した背景

自然公園である園地の総合利用のための木造施設の改修にあたり、利用者が木のあたたかみや香りを感じ、また木製品にふれあうことができるようにすることで、森林の多様な機能を知る機会を創出することを目指しました。





2 木材の使用箇所や工夫点

外壁の材料について、コストやメンテナンスの面から金属系や樹脂系の改修案もありましたが、自然豊かな里山の園地内に位置する施設であることから、自然に育まれた木材を外壁材として選定しました。また、当園地の里山維持のために間伐した木を利用して製作した木製品を施設内に設置しました。

3 木造・木質化した感想

施設を利用した自然観察会に参加した子どもたちに、木を利用することが、森林や里山の機能維持に役立っていることを説明しています。保護者からは、施設を利用する度に、木の良さにふれあえるのと同時に、循環型の持続する社会を意識することになるとの感想をいただいています。





阿曾集会所

所在地	大紀町阿曾 3264-3	延床面積	298.1 m ²
発注者	大紀町	工事費	78,434 千円
区分	新築	木材利用量	71.7 m ³
工期	着手 令和 2 年 2 月 7 日 完成 令和 2 年 10 月 1 日	うち県産材利用量	71.7 m ³
階数	地上 1 階	設計	a+s 建築設計事務所
構造	木造	施工	有限会社小野建設

1 木造・木質化を選択した背景

大紀町の地域住民の多くが集う地区集会所を木質化することにより、当該施設の利用を通じ、地域住民の方に木の良さを実感してもらうため、木造建築の集会所を計画しました。

4 木造・木質化した感想

天井に見えるトラスと、内外装においても木材をふんだんに利用していることから、木を身近に感じることができる施設となっており、木の薫る居心地のよい施設であると地元住民から評価を頂いています。

2 木材の使用箇所や工夫点

構造材は、全て無垢材を使用しており、トラス構造の採用により、間口の広い部屋においても太い梁が不要となり、一般的に流通している太さの構造材を使用しています。会議室においては、天井を張らずトラスを見せる構造としました。

3 木造化におけるコスト削減の取組

トラス構造を採用することにより、梁に太い集成材を使用する必要が無く、一般的に流通している太さの地域材を利用することで、コストを削減しています。





宮リバー度会パーク上屋

所在地 度会郡度会町棚橋 2
 発注者 度会町
 区分 新築
 工期 着手 令和 3 年 1 月 6 日
 完成 令和 3 年 3 月 12 日
 階数 地上 1 階
 構造 木造

延床面積 39.7 m²
 工事費 4,950 千円
 木材利用量 3.8 m³
 うち県産材利用量 3.8 m³
 設計 有限会社南勢建築設計
 施工 株式会社高橋建築

1 木造・木質化を選択した背景

木造と鉄骨造を比較し、公園内の施設なので、子どもが走ってぶつかってしまった場合を想定して衝撃を吸収してくれること、経年劣化で錆が出ないこと、コストを抑えられるといったことから木造を選択しました。

2 木材の使用箇所や工夫点

基礎、柱脚、屋根材以外はすべて木材を使用しました。利用者の気持ちを考えながら、高さ関係をきめ細かく検討し、開放感のある空間を目指しました。耐震壁や筋交いを配置できないので、方杖を使って強度を高めました。

3 木造化におけるコスト削減の取組

登り梁にし、方杖で柱・梁・母屋を接合することで、通常の軸組構法より使用する材料を少なくなるよう工夫しました。屋根を片流れにすることで、接合・加工箇所を少なくし、施工手間を減らすことでコストを削減しました。

4 木造・木質化した感想

芝生広場にマッチした質感が好評で、普段は訪れた方々に憩いの場として利用していただいております。





住宅型有料老人ホーム 木家

所在地 松阪市石津町 78-2
 発注者 株式会社坂井電機
 区分 新築
 工期 着手 令和 2 年 8 月 7 日
 完成 令和 3 年 3 月 10 日
 階数 地上 2 階
 構造 木造

延床面積 916.0 m²
 工事費 297,000 千円
 木材利用量 309.1 m³
 うち県産材利用量 309.1 m³
 設計 地主建築設計事務所
 施工 松阪興産株式会社

1 木造・木質化を選択した背景

老人福祉施設は、木の温かみ、香りを有する木造建築物としたいと考え木造としました。準耐火構造のパネルログ（壁柱）を採用し、入所者、来訪者への快適性の実現を目指すとともに、地元木材産業への活性化を計りました。

3 木造化におけるコスト削減の取組

建物一部は、連続木柱に板材張り（準耐火構造）仕上の部分もあり、建材や壁紙仕上のような内装工事費の削減につながりました。木構造により、建築物荷重が少ない為、基礎構造が簡易で土工事、基礎工事費の割合が少なくなり、木質構造をふんだんに利用出来ることとなりました。

2 木材の使用箇所や工夫点

パネルログ（壁柱）両面木質張りの準耐火構造により、外壁、内装の木材現わし仕上を実現し、外観においては、周辺住宅街に対して柔らかくやさしさを表現し、内部では木の香りが十分行き渡る室空間としています。

4 木造・木質化した感想

壁一面に使用した県産材の心地よい香りが、玄関に入った瞬間来訪者を出迎える施設となり、木の温もりに囲まれて、入所者や職員の心が少しでも和らぐのではないかと期待されます。



山除川排水機場 操作員休憩室

所在地	桑名市多度町東平賀字葭島2058ほか	延床面積	23.2 ㎡
発注者	三重県	工事費	15,411 千円
区分	新築	木材利用量	6.2 ㎡
工期	着手 令和2年1月23日 完成 令和2年5月21日	うち県産材利用量	4.3 ㎡
階数	地上1階	設計	KENー空間設計
構造	木造	施工	株式会社ナカムラ建設

1 木造・木質化を選択した背景

県産木材の利用推進を図るため、木造を選択しました。

排水機場運転員が荒天時に仮眠等を行う施設となるため、居心地の良い空間となるよう、内装の木質化を図りました。

2 木材の使用箇所や工夫点

梁材・構造用合板を除き、柱・土台などの構造材は、すべて県産木材を利用しました。

内装には床フローリング・廻り縁・巾木に木材を利用しました。

3 木造・木質化した感想

内装の一部を木質化することにより、温かみのある空間となっています。





尾鷲市役所本庁舎

所在地	尾鷲市中央町 10-43	延床面積	3,218 m ²
発注者	尾鷲市	工事費	635,723 千円
区分	改修	木材利用量	32.5 m ³
工期	着手 令和元年 9 月 26 日 完成 令和 3 年 2 月 25 日	うち県産材利用量	32.5 m ³
階数	地上 3 階、地下 1 階	設計	竹中工務店・丸昇建設 特定建設工事共同企業体
構造	鉄筋鉄骨コンクリート造	施工	竹中工務店・丸昇建設 特定建設工事共同企業体

1 木造・木質化を選択した背景

本庁舎の耐震改修工事であることから「尾鷲らしさ」を見せるため、耐震補強では珍しい木材を使用したものとなりました。また、耐震補強に木材を使用するだけでなく、外装には、尾鷲ヒノキと鉄のハイブリット化による「木板組込耐震市松壁」、柱材を活用した正面玄関、内装にはルーバー等による木質化などが実施されており、耐震補強に併せて快適な空間を演出した相乗効果が生まれています。





2 木材の使用箇所や工夫点

今回の本庁舎の耐震改修工事では、木材による耐震施工が行われており、正面玄関風除室では、尾鷲の海の波を表現した世界初となる尾鷲ヒノキをC L T加工した木製エストーンブロック耐震壁を採用し、1階フロアにおいては、耐震施工として鉄骨ブレースの代わりに木圧着ブレースが採用されています。

3 木造・木質化した感想

正面玄関風除室では、木製エストーンブロックを無塗装とすることで、尾鷲ヒノキの独特の強い香りを生かし、庁外においても様々なところで木材を活用しており、内装を木質化していることで、来庁される方に「木の香る温かみのある空間」であると非常に高い評価をいただいています。また、木材を使った珍しい耐震補強であるため、施工業者によるプレスリリースや様々な新聞にも取り上げていただいています。



警察官駐在所 木造建築事例

4. 庁舎等

1 木造・木質化を選択した背景

三重県警察本部では、耐震化・老朽化対策、プライバシーに配慮した相談室の確保、誰もが安心して利用できるバリアフリーの施設整備のため、県内の警察官駐在所の建替えを進めています。令和 2 年度は 9 件整備しました。

それぞれの敷地は広さ・形状が様々なため、そこに建つ駐在所の間取りもいろいろなパターンがあります。木造であれば比較的多様な間取りに対応できるので、木造在来工法を選択しました。



いなべ警察署治田警察官駐在所

所在地	いなべ市北勢町大字東村 30-10
発注者	三重県
区分	新築
工期	着手 令和 2 年 7 月 29 日 完成 令和 2 年 12 月 25 日
階数	地上 1 階
構造	木造

延床面積	71.9 m ²
工事費	23,177 千円
木材利用量	15.5 m ³
うち県産材利用量	0 m ³
設計	三重県警察本部
施工	有限会社ナカムラ建設



いなべ警察署梅戸井警察官駐在所

所在地	いなべ市大安町門前 518
発注者	三重県
区分	新築
工期	着手 令和 2 年 8 月 24 日 完成 令和 2 年 12 月 24 日
階数	地上 1 階
構造	木造

延床面積	73.4 m ²
工事費	26,079 千円
木材利用量	14.4 m ³
うち県産材利用量	0 m ³
設計	三重県警察本部
施工	有限会社ナカムラ建設

2 木材の使用箇所や工夫点

9箇所の駐在所共に、柱、梁等の構造、床組み、小屋組みは全て木造としました。ホール及び事務室の腰壁に木材(ヒノキ板材)を使用し、居室の床は複合フローリング張りとしました。

また、それぞれの建築地ごとに敷地条件が異なるため、設計に当たり以下のような配慮・工夫を行いました。

治 田：隣地が小学校のため、学校側に向けてウッドデッキを設ける等、児童にも親しみやすいデザインを意図しました。

梅戸井：前面道路が湾曲しているため、道路からの見え方を意識し、屋根形状に変化をつけました。また住居部分にはウッドデッキを設けました。

川 島：住宅団地内のため、周囲に合わせた住居プランとし、正面にはウッドデッキを配置しました。

加佐登：敷地が狭いため一部2階建てとし、吹抜け部分に明り取りを設けて構造材を現しとしました。ホールは杉天井、集成材のカウンターです。

東黒部：間取りは変形L字プランとして屋根形状に変化を持たせました。また、居室を真壁とし、柱を現しとすることで、落ち着いたイメージとしました。

大 石：2本の道路に挟まれた三角地の為、敷地形状に合わせて、外壁を一部雁行させ動きをつけました。

安 乗：海岸からの強風の影響を軽減するため、シンプルな小屋組みの大屋根を架け、海風を受け流す形状とした、直線一本棟です。

赤 目：軒裏天井に木材を使用するとともに、一部の軒桁を現しの化粧材にして、木造を意識できる外観としました。

金 山：山間地の広い敷地の為、目印となるようシンボリックな屋根形状としました。ポーチの化粧柱はヒノキ材(上小節)です。



四日市南警察署川島警察官駐在所

所在地	四日市市川島町 5596
発注者	三重県
区分	新築
工期	着手 令和2年7月29日 完成 令和3年1月19日
階数	地上1階
構造	木造

延床面積	70.4 m ²
工事費	23,661 千円
木材利用量	12.9 m ³
うち県産材利用量	9.5 m ³
設計	三重県警察本部
施工	村田建築事務所



鈴鹿警察署加佐登警察官駐在所

所在地	鈴鹿市加佐登町 3-14-2
発注者	三重県
区分	新築
工期	着手 令和2年11月11日 完成 令和3年3月17日
階数	地上2階
構造	木造

延床面積	68.7 m ²
工事費	24,919 千円
木材利用量	13.1 m ³
うち県産材利用量	0 m ³
設計	三重県警察本部
施工	株式会社長谷川建築

4. 庁舎等



松阪警察署東黒部警察官駐在所

所在地 松阪市東黒部 460-1
 発注者 三重県
 区分 新築
 工期 着手 令和 2 年 11 月 11 日
 完成 令和 3 年 3 月 29 日
 階数 地上 1 階
 構造 木造

延床面積 69.3 m²
 工事費 23,652 千円
 木材利用量 14.1 m³
 うち県産材利用量 11.2 m³
 設計 三重県警察本部
 施工 株式会社西川建設



松阪警察署大石警察官駐在所

所在地 松阪市小片野町 90
 発注者 三重県
 区分 新築
 工期 着手 令和 2 年 9 月 7 日
 完成 令和 3 年 1 月 27 日
 階数 地上 1 階
 構造 木造

延床面積 73.4 m²
 工事費 23,105 千円
 木材利用量 13.3 m³
 うち県産材利用量 0 m³
 設計 三重県警察本部
 施工 伊藤建設株式会社



鳥羽警察署安乗警察官駐在所

所在地 志摩市阿児町安乗 118
 発注者 三重県
 区分 新築
 工期 着手 令和 2 年 11 月 13 日
 完成 令和 3 年 3 月 23 日
 階数 地上 1 階
 構造 木造

延床面積 76.9 m²
 工事費 24,664 千円
 木材利用量 15.5 m³
 うち県産材利用量 11.4 m³
 設計 三重県警察本部
 施工 作田建設有限会社



名張警察署赤目警察官駐在所

所在地 名張市赤目町檀 454-12
 発注者 三重県
 区分 新築
 工期 着手 令和 2 年 10 月 13 日
 完成 令和 3 年 3 月 4 日
 階数 地上 1 階
 構造 木造

延床面積 72.1 m²
 工事費 24,341 千円
 木材利用量 13.1 m³
 うち県産材利用量 7.5 m³
 設計 三重県警察本部
 施工 株式会社高田工務店



熊野警察署金山警察官駐在所

所在地 熊野市金山町 2
 発注者 三重県
 区分 新築
 工期 着手 令和 2 年 11 月 18 日
 完成 令和 3 年 3 月 22 日
 階数 地上 1 階
 構造 木造

延床面積 73.7 m²
 工事費 27,176 千円
 木材利用量 14.8 m³
 うち県産材利用量 12.0 m³
 設計 三重県警察本部
 施工 後呂組

3 木造化におけるコスト削減の取組

駐在所は小規模建築で小さい部屋が多いため、コスト削減を図りやすい木造としました。また、事務所兼用とはいえ、住宅部分の方が広いので、流通量の多い住宅用木材を用いるよう職員（4人）で設計し、地域の小規模事業者でも施工しやすいよう配慮しています。

4 木造・木質化した感想

来所者からは、受付（事務室）や相談室の内装に木材が使われているので、ぬくもりや柔らかさを感じられる、親しみやすく安心できるなどの感想をいただいています。



【表紙写真】 神戸保育園

【裏表紙】 左上：宮リバー度会パーク上屋

左下：阿曾集会所

右上：尾鷲市役所本庁舎

右下：養泉寺保育園

三重県農林水産部 森林・林業経営課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

TEL：059-224-2565

FAX：059-224-2070